- 1 日 時 令和6年9月4日(水) 第6限
 2 場 所 各HR教室
 3 単 元 名 社会科学的探究講座「コンビニコーヒーから考える経営学」(1時間目/2時間)
 4 準 備 物 ワークシート、資料、課題研究メソッド、タブレット端末
 5 本時の展開

	学習内容	指導上の留意点
導入 (4分)	<p>本時(及び次時)の目的を理解する。</p> <p>ワークシートと資料を受け取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会科学」ではどのような学問分野があるかを確認させる。(メソッド p34) ・社会科学の課題研究は、<u>社会生活のなかにある素朴な疑問</u>から始まる。 ・本時(及び次時)では「コンビニコーヒー」をテーマに、主に経営学の視点から①問い②仮説③検証方法を考えることが目標である。
展開 (40分)	<p>ワークシート①</p> <p>〔個人〕【資料】を見て疑問に感じたことをたくさん挙げる。</p> <p>*想定される疑問(例)</p> <p>「同じLサイズなのにホットとアイスの値段が異なる」 「Lサイズは値段がアイスとホットで値段が異なるのに、R(S)サイズは同じ値段」 「ローソンだけアイスコーヒーもカップが紙」 「ローソンだけメガサイズがある」 「ミニストップだけホットのLサイズがない」</p> <p>ワークシート②</p> <p>①①で挙げた疑問をもとに、「問い」を立てる。 ②問いに対する「仮説」を立てる。 →4人班をつくり、①②の内容を班で共有する。 ③タブレット端末を用いて、インターネット検索で「問い」の答えを探す。 <u>※疑問がコンビニコーヒーからあまり離れないように指示してください(離れてもいいのは2時間目です)</u></p> <p>問いの深化=①→②→③→①の繰り返しであることを伝え、何度も繰り返し取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも疑問に感じたことをどんどん挙げていくように促す。 ・経営的視点を持ち、コンビニ各社を比較するよう助言する。 ・料金からも写真からも比較検討することが可能であると助言する。 <p>・「疑問・質問」…調べれば出てくるもの。 「問い」…調べてもすぐには答えが見つからない、研究対象になり得るもの。この違いについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視を行い、方向性がずれていれば軌道修正する。 *「味が違う」など、主観的なものではないか。 *「経営戦略の違い」という視点から考えられているか。 <p>・インターネット検索で、ほとんどの答えは出るはず。すぐに出なければ検索方法について助言する。</p>
まとめ (6分)	<p><u>「問いを深める」ということ</u>を配付</p> <p>※2時間目のイメージは、次回の最初にも触れていただきます</p> <p><u>インターネット等で調べればすぐに答えの見つかるものは、課題研究の「問い」(リサーチクエスション)として適切ではないことを理解する。</u> (答えがすぐ見つかるものは、ただの“質問”である)</p>	<p>次時では、コンビニコーヒーをテーマにさらに「問い」を深めていく活動を行う。</p>

第1学年課題研究「SAI」 学習指導案

- 1 日 時 令和6年9月11日(水) 第6限
 2 場 所 各HR教室
 3 単 元 名 社会科学的探究講座「コンビニコーヒーから考える経営学」(2/3)
 4 準 備 物 ワークシート、資料、課題研究メソッド、タブレット端末
 5 本時の展開

	学習内容	指導上の留意点
導入 (5分)	前時の活動内容を振り返り、本時の目的を理解する。 「前時で立てた問い」を発展させていく作業を行い、適切な「問い」の立て方を学ぶ	「問いを深めるということ」の右下や課研メソッドp.46,47を使って、「問いを深める」という行為のイメージを再度確認する
展開 (44分)	<p>ワークシート³ <u>「コンビニコーヒー」or「コンビニ」について経済学的な視点から問いを深めていく</u> <u>次回の授業で発表です!</u></p> <p>4人班(前時と同じ班)で、すぐに答えの見つからない「問い」にたどり着くまで、「問い」を立てる⇒仮説を立てる⇒インターネットで検索⇒「問い」を立てる…を繰り返す。</p> <p>※仮説を立てるのに時間をかけすぎると作業が進まない ※裏面クエスチョンマッピングを作成しながらすすめる。 ※適宜役割分担をして進める</p> <p>ワークシート⁴ 【グループ】³でたどり着いたすぐに答えの見つからない「問い」に対する「仮説」を考える。</p> <p><u>◎たどり着いた「問い」を各班の代表者がGoogleフォームで入力する</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究メソッド p44「問いの種類」を参考にしながら活動を進めるよう伝える。 ・クエスチョンマッピングはメソッド p47 を参考に、まずは²で出した「問い」と結果をまとめさせる。 ・テーマが広がりすぎると浅いところで調べているだけで授業が終わってしまうので、<u>コンビニコーヒーorコンビニについて経済学的な視点から問いを深めていく</u>のように指示してください。 ・参考プリントを使って、行き詰っている班へ助言をお願いします。
まとめ (1分)	<p>次回の連絡</p> <p>次回、各班がたどり着いた問いについて発表を行い、問いを深める授業のまとめを行います。</p>	

今後の予定

- 9月18日(水) 社会科学3時間目 発表、フィードバック、評価について
 9月25日(水) 問いを立てる&深める 夏休み課題を使って ①個人ワーク
 10月2日(水) 問いを立てる&深める 夏休み課題を使って ②グループワーク

第1学年課題研究「SAI」 学習指導案

- 1 日 時 令和6年9月18日(水) 第6限
 2 場 所 各HR教室
 3 単 元 名 社会科学的探究講座「コンビニコーヒーから考える経営学」(3/3)
 4 準 備 物 ワークシート、資料、課題研究メソッド、タブレット端末
 TX-Assessment 評価シート、課題研究の夏休み課題

生徒に持参させてください。
 次回以降も使います。

	学習内容	指導上の留意点
導入 (5分)	<p>本時の内容は、前回行ったグループワークの結果を発表すること、最後のまとめ、そして課題研究の評価について改めて確認するという3点であることを伝える。</p> <p>グループに分かれ、発表ができるよう準備・確認を行う。(以下の3点について発表するようにご指示ください。)</p>	<p>・発表の制限時間は2分。ダラダラ発表せず簡潔に分かりやすくまとめて話せるよう準備をさせる。</p>
展開① (25分)	<p>前時に行ったワークシート4の内容について、各班2分の持ち時間で発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立てた問い、そこから考えた仮説(仮説はあれば) ・<u>問いが立つまでのプロセス</u> ・問いを立てる上で困ったこと など <p>全グループが発表を終えたところで、指導教員が最後のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表に対するフィードバック(班ごとでなくとも、全体に対して、傾向の似ている班を幾つか組み合わせるなど、指導教員の裁量でよい) ・社会科学の内容に理解や深まりを感じたか ・問いを立てる/深める際に必要な手順、方法を学べたか 	<p>・「問い」が自信をもって発表できない班も少なくないと思われるが、あくまで練習であるので、<u>問いが立つまでに何を考え、どういうプロセスを辿ったかという点</u>をしっかりと話すよう促す。苦労話も全体にとっては有益な話。</p> <p>・良い問いを立てるには、ある程度の知識が必要であり、その先に未知の研究があるという点にも改めて触れておく。</p>
展開② (10分)	<p>TX-Assessment の評価について、改めて説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからいよいよ個人の興味、関心に基づいて課題研究が始まっていくという点 ・課題研究において、TX-Assessment の評価が基準になっているという点 ・<u>自分自身がどの点を伸ばしたいか</u>、という点 <p>次時の準備のため、課題研究の夏休み課題の裏面3「興味・関心の整理・焦点化」を、QRコードからグーグルフォームに繋ぎ、入力する。</p>	<p>・「興味をもったこと」の欄に書いてある問いを入力させてください。問いが1つしかない、問いの形になっていない場合もそのまま入力させてください。 (次回の授業までに生徒の立てた問いを一覧にしてお渡しします。)</p>
まとめ (5分)	<p>次時は、課題研究の夏休み課題を用いて、自身の興味・関心から「問いを立てる」ことを深めていく。</p>	<p>例) 今日まで3時間かけて学んだ「問いを深める」というプロセスを、いよいよ次からは各自のテーマでやっていきます。今回の社会科学に限らず、これまでの授業で学び、トレーニングしてきたことを活かし、3年生まで続く研究活動を実りあるものにしていこう。 ※12月にはグループ分けが始まります。</p>